

県立神栖高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

- 「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。
- 確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒一人一人に明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。
- 自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。
- 特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<ul style="list-style-type: none"> ○人間関係形成・社会形成能力 ○自己理解・自己管理能力 ○課題対応能力 ○キャリアプランニング能力 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己評価アンケートを実施 ○Σテスト等の実施 ○ポートフォリオ、キャリアパスポートの活用 ○資料作成、発表態度、相互評価 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の障害特性を的確に把握し、情報を共有し、生徒の指導に具体的に生かす。 ○生徒・保護者の「生きにくさ」「困り感」に寄り添う支援や「合理的配慮」を施す。 ○リラックスルーム及び保健室の効果的な運営を目指す。

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	「地域の産業・企業は、SDGs（持続可能な開発目標）の視点から見た地球規模の課題（環境問題、エネルギー問題、人口減少など）にどのように関わり、その解決にどのように貢献しているのか。また、それらの取り組みは地域社会や将来の持続可能性にどのような影響を与えているのか。」をテーマにした課題研究を行う。	地域企業・事業所と連携し、出前授業やインタビュー協力を依頼する。また、NPO・国際協力団体に依頼し、グローバル課題のリアルな事例紹介やオンライン交流を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら問いを立て、情報を収集・分析できる生徒 ○地域と世界を結びつけて考えられる生徒 ○データや根拠をもとに発表・提言ができる生徒
2年	自己理解と課題対応能力の育成を重視するため、生徒たち自らの活動を主とする。将来に向けた準備期間であるため、興味があるもの、やりたいことはなにかを見つける学習時間とする。実際に企業で働く方と共に探求活動を行うことで、社会に関心を持ち自分には何が必要なのかを見つける。	企業ガイダンスや職業別ガイダンスなどを実施し、探求ゼミに参加することで生徒の自主性と目的である、自分が何をしたいのかとすることができる環境づくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○自分自身を見つめ、自己理解を深めることで、客観的な視点から物事を見ることが出来る生徒 ○近い将来の見通しを持ち、今後の学校生活を充実して送れる生徒
3年	自分の目指す進路が決定したときに、今後どのような学習が必要とされるか考え、課題を設定する。調べた内容をまとめ、クラス・グループに対して、自分がこれからやるべきこと・実施していることを発表する。	地域事業所・進路ガイダンス等を実施している会社や学校と連携を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業先で自律心を持ち、他者と協働しながら規律ある社会生活を送れる生徒